

3月25日(土)・26日(日) ミュージック・ボックス、大西正人エンターテイメントPro...



## 垣根を越えてみんなで作り上げたスペシャルなステージ

世界ダウン症の日記念チャリティーイベント in 神戸「Universal Fitness Project vol. 7 ～すべての人に笑顔を～」を開催しました。このイベントは、海外や日本全国からゲストプレゼンターの方をお招きしてのダンスフィットネスレッスンと、ダウン症のある人たち等のメンバーによるショータイムがミックスしたイベントです。

ダンスフィットネスレッスンでは、日頃からスポーツクラブなどでレッスンを受けているダンス愛好家の皆様と一緒にダウン症のあるメンバーも楽しくレッスンに参加。

ショータイムには、兵庫・大阪・愛媛から個性豊かな8チームが出演。年齢や性別、障害の有無などすべての垣根を越えて、みんなで一つの作品を作り上げるスペシャル

ショータイムを開催！ そのプロセスで、障害のある人もない人もコミュニケーションをとることができ、良い雰囲気でした。本番もチームとしての団結力が見えました。来年も3月24日・25日に開催予定で、更にパワーアップしたいと思います。

【ミュージック・ボックス代表：大西 正人】



8チームがお互いにステージを見せ合い良い刺激に！

3月26日(日)

JDS 奈良北支部 (バンビーナの会)



## 心と身体の調和を学ぶ“動作法”についての講演会

第8回公開講演会を奈良市総合福祉センターで開催。「基礎から学ぶ動作法」と題して、大阪大谷大学教育学部特別支援教育専攻の小田浩伸教授に講義をしていただきました。保護者と支援者数十人が、大人同士でペアになり、様々なボディワーク演習を実践します。援者は相手に優しい手で身体に触れているか、共感的に受け止めているか、伝わる方法でわかりやすく指示や情報を伝えているか等を体験しました。

動作法は、身体の動きを通して心に語り掛けていく心理的アプローチです。発達は常に前進、上乘せであると考えあまり「昨日も言ったよ」「いつもできているでしょ！」と言ってしまい、子どもがやる気をなくしたという経験が、私にもあります。

過去ではなく、今できた瞬間を新鮮に受け止める余裕をもって接すること、子どもの努力を十分に褒めてあげるのが必要なことに気がつき、まさに“目から鱗”でした。子どもの主体性を引き出す動作法を体験し、同時に、親も大いにリフレッシュできました！

【奈良北支部 副支部長：林 照子】



親たちも小田先生指導による力を抜く動作法でリフレッシュ

関連事業については「世界ダウン症の日公式サイト」をご覧ください

JDSホームページのトップ「世界ダウン症の日公式サイト」↓トップに日付順に掲載